

家庭用 発芽玄米炊飯器

DFL-1100 取扱説明書



はじめに

使い方

困ったときは・その他

INDEX

はじめに

- 安全上のご注意 P1-2
- ごはんをおいしく炊くために ... P3
- 各部のなまえ P4

使いかた

- 各部のはたらき P5
- 炊飯前の準備 P6
- 炊飯方法 P7-8
- お手入れのしかた P8-10

困ったときは・その他

- 故障かな?と思ったら P11
- 製品仕様 P12

このたびは「発芽玄米炊飯器」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。

本製品をご使用の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分にご理解されたうえで事故が起こらぬように記載内容に従って正しくご使用ください。

本製品は一般家庭用に開発された商品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認できるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「禁止」(しないでください)を示します。



記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

■安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、一般家庭用以外(業務用など)でのご使用、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様の使用は避けてください。

 警告	
 分解禁止	絶対に本製品の改造、分解、修理をおこなわない ●火災や感電、けがの原因になります。 ※修理につきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
	業務用や使用目的以外に使わない
	コンセントや配線器具の定格を越える使用かた(エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線)や AC100V 15A以外では使わない ●たこ足配線などで定格を越えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器の損傷のおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したまま使わない 加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど ●感電や故障・発熱や発火で火災の原因になります。
	電源コードや接続プラグ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ●感電やショート、発火のおそれがあります。
 禁止	子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所での使用や設置・保管はしない また、おもちゃとして絶対に使わせない ●やけどや感電、けがをするおそれがあります。
	床の上やテーブルなど、乳幼児の手が届くところで使わない ●やけどやけがをするおそれがあります。
	炊飯中は、絶対に蓋を開けない ●やけどをするおそれがあります。
	底面の吸気口や蓋の蒸気口のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない ●感電や異常動作によるけがのおそれがあります。
	他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない ●蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグや接続プラグを抜き差ししない ●感電やけがのおそれがあります。
 接触禁止	蒸気口に顔や手を近づけない ●やけどをするおそれがあります。 特に乳幼児には、触らせないように注意してください。

 警告			
 水ぬれ禁止	本体を丸洗いしたり、水に浸けたり、水をかけたりしない ●ショートによる感電や故障の原因になります。		 プラグを抜く お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグや接続プラグをコンセントや本体から抜く ●感電やけがの原因になります。
	 プラグを抜く 異常・故障時には、ただちに使用を中止し電源を切り、電源プラグや接続プラグをコンセントや本体から抜く ●発煙・火災・感電のおそれがあります。 [異常の例] ・異常な音やにおいがする ・電源プラグや接続プラグ、電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感じる ※修理につきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。		電源プラグや接続プラグは根元まで確実に差し込む ●感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。
	使用時以外は必ず電源プラグや接続プラグをコンセントや本体から抜く ●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。		 必ず守る 電源プラグや接続プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ部分を持って抜く ●感電やショート、発火のおそれがあります。 電源プラグや接続プラグのゴミやほこりは乾いた布で定期的に取り除く ●ほこりに付いた湿気などで絶縁不良になり、火災のおそれがあります。

 注意		
 禁止	不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使わない ●感電や漏電の原因になります。 感電や漏電、火災・故障の原因になりますので、カーペット、ビニール袋などの上には置かないでください。	使用中や使用直後は、高温部に触れない外蓋を開けたときには、内釜などに手や腕を接触させない。 ●やけどのおそれがあります。
	壁や家具の近くでは使わない ●蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。 ※壁や家具からは上・左右30cm以上離して使用してください。キッチン用収納棚などを使用する際は、中に蒸気がこもらないように注意してください。	 禁止 スプレー(殺虫剤・整髪料・潤滑油など)をかけない ●発火・火災の原因になります。
	水のかかるところや、火気の近く、油などが飛び散る場所では使わない ●感電や漏電・本体の変形や変色、火災・故障の原因になります。	内釜を落としたり、傷つけたりしない ●うまく炊けない原因になります。
	専用の内釜・接続コード以外は使わない また、接続コードを他の製品に使用しない ●加熱・異常動作の原因になります。	本体を持ち運ぶ際にフックボタンを押さない ●外蓋が開いて、けが・やけどの原因になります。
	使用中は本体を移動しない ●やけどや吹きこぼれの原因になります。	炊飯中の蒸気口からの蒸気や、蓋を開けたときの蒸気に気を付ける ●本体や蓋の変形・変色、やけどの原因になります。
	炊飯中、絶対に本体に布巾などをかけない ●本体や蓋の変形や変色、火災・故障の原因になります。	異物は取り除く ●内釜の外側や炊飯ヒーター・温度センサーに付着した米粒や異物、水滴などは必ず拭き取ってから使用してください。
吸気口をふさぐような場所や、直射日光の当たるところ、高温になる場所で使用したり保管したりしない。 ●故障や色あせ、熱による変形の原因になります。	お手入れは本体が完全に冷めてからおこなう ●高温部に触れることによる、やけどのおそれがあります。	

ごはんをおいしく炊くために

■お米は湿気の少ない、涼しいところ(冷蔵庫など)に保存してください。

●付属の計量カップで正確にお米を計る



⚠ 注意

●指定の炊飯量以外では炊かないでください。
→吹きこぼれたり、うまく炊けない原因になります。

※必ず付属の計量カップで計ってください。1カップすり切り1杯は約180ml(1合)です。計量米びつや、市販のカップ(200ml)では炊飯時間や炊き上がりのごはんのかたさが変わることがあります。

●洗米は手早くおこない、内釜の水位目盛を見て水加減をする

乾燥したお米は、水に浸けると一気に水分を吸収します。たっぷりのきれいな水を一気に加えて手早くかきまぜて水を捨て、2～3回軽くすすいでください。

※お湯(35℃以上)で洗米や水加減をしないでください。

※水位目盛は標準的な目安です。好みのかたさやお米の種類、新米度によって水位目盛1～3mm程度の範囲で水加減を調整してください。

※水の量がお米に対し、正しい水量が確認をしてください。必ず平らな台の上で水加減をおこなってください。

●内釜をかるく左右に回して、お米をたいらにし、炊飯器本体にセットする

●炊きあがったらしっかりほぐす

付属のしゃもじですくうように底からほぐして、ごはん粒の周囲の水分をとばします。

※ほぐさないとごはんが固まってしまうです。

●無洗米を炊くときは

無洗米と水を入れたあと、ひと粒、ひと粒が水になじむように底からよくかき混ぜてください。

※上から水を入れただけだと、お米が水になじまず、うまく炊けないことがあります。

※水を入れて白く濁るときは、1～2回水を入れ替えてすすぐことをおすすめします。白くなるのは、お米のデンプン質でぬかではありませんが、そのまま炊くと、焦げたり、うまく炊けないことがあります。



注意

●内釜の外側や本体内側に水分や異物がついている場合は、きれいにふき取る

●内釜は水平にして炊飯器本体へ確実にセットする

→蒸気もれ、吹きこぼれ、故障、ごはんがおいしく炊けないなどの原因になります。

●炊飯中、本体に布巾などをかけない

→蒸気がこもり、本体や釜の変形や変色、火災・故障の原因になります。

●付属のしゃもじか木製のしゃもじ以外は使用しない

→フッ素加工面の傷やはがれの原因になります。

各部のなまえ

【内蓋】

(着脱可)
着脱のしかた:9ページ

【外蓋】

スチーム
キャップ
(着脱可)
着脱のしかた:
10ページ

蒸気口

フックボタン
押すと外蓋が
開きます。

外蓋

内蓋取付軸

【内釜】

詳細:5ページ

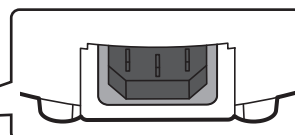
本体

操作部
詳細:5ページ



【接続プラグ差込口】

詳細:7ページ



ヒーター

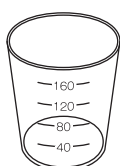
温度センサー

※コンセントにアース取付部がある場合はアース線を接続してください。

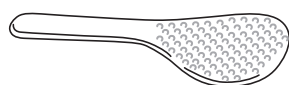
吸気口(底面)

【付属品】

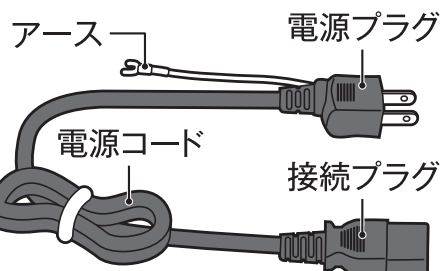
計量カップ
詳細:5ページ



しゃもじ



【接続コード】



電源コードは束ねたまま使用しない
→コードが熱くなり、故障の原因になります。

各部のはたらき

操作部

※約30秒無操作の場合、待機状態に戻ります。

選択

炊飯米を設定します。

「選択」ボタンにタッチすると最初に「玄米」ランプが点滅します。「選択」ボタンにタッチして「玄米」または「白米」を選択します。

※タッチするごとに「玄米」「白米」「保温」が切り替わります。詳細:7ページ

※「玄米」は「浸漬」→「発芽」→「炊飯」→「保温」、
「白米」は「浸漬」→「炊飯」→「保温」の工程設定になります。

決定

「玄米」か「白米」かの決定、 および炊飯完了時間を決定します。

※炊飯完了までの時間を

「玄米」4~12時間、「白米」2~12時間まで10分単位で設定ができます。

取消

各設定の取り消しをします。

炊飯米の設定・炊飯完了時間・保温の取消ができます。

保温機能

保温設定ができます。また、炊飯終了後は自動的に保温がスタートします。保温時間は最長6時間です。6時間経つと保温が終了し「----」の表示になります。

00:00 ⇒ 00:01 ⇒ … ⇒ 5:59 ⇒ ----

●保温中液晶表示が保温時間の経過を表示します



必ず守る

使用後、完全に電源を切る場合は、電源プラグと接続プラグを必ずコンセントや本体から抜いてください。

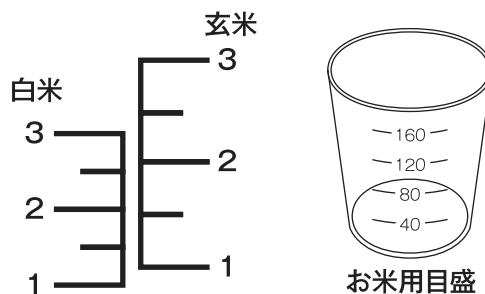
使い方

内釜の水位目盛

付属の計量カップを使って正しくお米を計量し、水位目盛に合わせます。

- 玄米・白米は最大3カップ (3合)まで炊飯できます。

水位目盛りは標準的な目安です。好みのかたさやお米の種類、新米度によって水位目盛1~3mm程度の範囲で水加減を調整してください。



炊飯前の準備

1 内釜・計量カップをきれいに洗います

- 柔らかいスポンジなどで洗います。

内釜を洗う場合は、9ページのお手入れのしかた「内釜」を参照してください。



禁止

金属たわし、硬いナイロンたわしなどを使用しない

→内釜のフッ素加工面の傷やはがれの原因になります。

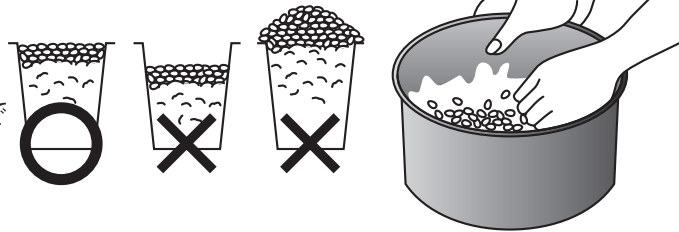
内釜を外したままで炊飯や調理をしない

2 付属の計量カップを使ってお米を正しく計量し内釜に入れて洗米します

- 内釜で洗米できます。

※お米の洗いかたは、3ページを参照してください。

※指定の炊飯量以外では炊かないでください。吹きこぼれたり、うまく炊けない原因になります。

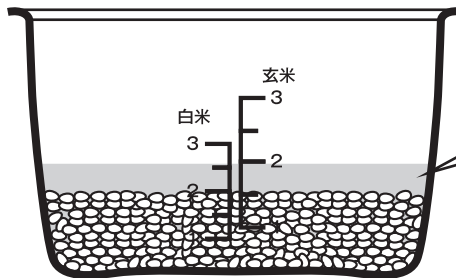


3 内釜に水を入れます

- 内釜を平らな所に置いて、水位目盛の下側に合わせて水量を調整します。

※水加減を間違えると吹きこぼれることがあります。

※水位目盛りは目安ですので、お好みで水加減を調整してください。



2カップ(2合)の玄米を炊く場合は「玄米」の2に合わせます。

- 玄米・白米は最大3カップ(3合)まで、炊飯できます。

4 内釜の底の水気を拭いて炊飯器本体にセットし、外蓋を「カチッ」と音がするまで確実に閉めます

- 内釜を左右に動かして、本体にしっかりセットします。

※内釜がきちんと入っていないと、外蓋が閉まりません。

→蒸気もれ、吹きこぼれ、故障、ごはんがおいしく炊けない原因になります。

※内釜の外側や炊飯器本体の内側に付着した米粒や水滴は、必ず拭き取ってください。水滴が付いていると、炊飯中に異音が出る場合があります。



注意

外蓋を無理に閉めない

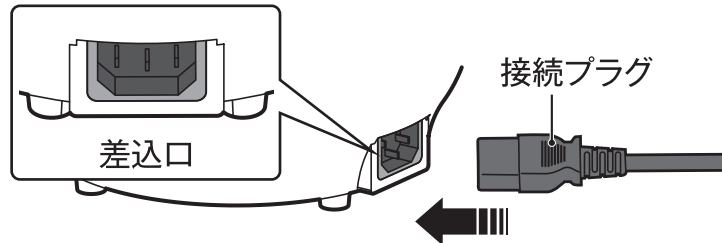
→故障の原因になります。閉まらない場合は、内釜が正しく入っているか確認してください。



使い方

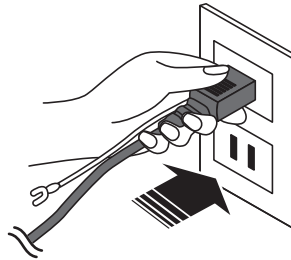
炊飯方法

- 1 接続プラグを本体背面の差込口に確実に差し込む



- 2 電源プラグをコンセントに差し込む

- 「ピィ」と鳴り、液晶画面が下図の表示になります。

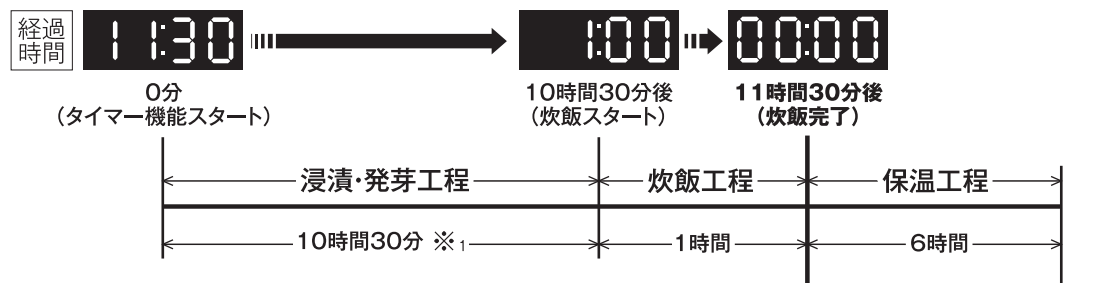


※コンセントにアース取付部がある場合は、アースを接続してください。

- 3 炊飯予約を設定する ※約30秒無操作の場合、待機状態に戻ります。

- ①「選択」ボタンにタッチすると最初に「玄米」ランプが点滅します。再度「選択」ボタンにタッチすると「白米」に切り替わります。
※タッチするごとに「玄米」「白米」「保温」が切り替わります。
 - ②「玄米」か「白米」を選択し、「決定」ボタンをタッチします。
 - ③「時間」表示が点滅した状態で「選択」ボタンをタッチして「時間」を設定し、「決定」ボタンをタッチします。次に、「分」表示が点滅した状態で「選択」ボタンをタッチして「分」を設定し、「決定」ボタンをタッチします。
 - ④「ピィ」と音が鳴って液晶画面に炊飯完了までの時間がカウントダウン表示されます。
- 設定した時間から炊飯完了までの時間を逆算し、炊飯を開始します。

例: 11時間30分後に玄米3合を炊飯完了したいとき



※1 浸漬・発芽工程の時間は炊飯米の種類とタイマーの時間によって変動します。

※ 炊飯工程には一部蒸らし工程も含まれています。

※ 3合以上は炊飯しないでください。⇒吹きこぼれの原因になります。



使い方

4 炊飯完了

●「ピー」と鳴って、炊飯モードのランプが消灯し、自動で6時間の保温に切り替わって、保温経過時間が表示されます。6時間経つと「ピー」と鳴って保温が終了し「----」の表示になります。

00:00 ⇨ 00:01 ⇨ … ⇨ 5:59 ⇨ ----

※3時間以上の保温は、ごはんの黄ばみやかたくなる原因になることがあります。



必ず守る

炊飯中は操作ボタンにタッチせず
蓋を開けない。
→やけどをする原因になります。

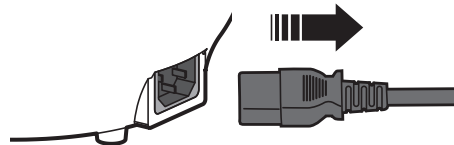
使い終わったら

- 1 必ず「取消」ボタンを
タッチし、液晶画面の表示を
---- にする。

※設定がリセットされます。



- 2 本体からプラグを抜き、
コンセントから電源プラグを抜く



注意

使用后「取消」ボタンをタッチせずに接続コードを抜いた場合、最後に使用したモードが記憶されているため、再度接続後にモード設定ができません。
その場合は、「取消」ボタンをタッチして前回の設定をリセットしてください。

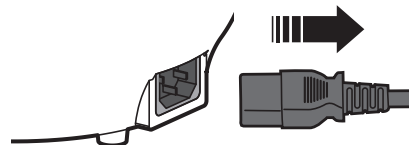
使い方

お手入れのしかた



注意

必ず本体から接続プラグを
抜き、本体が完全に冷めて
からおこなう



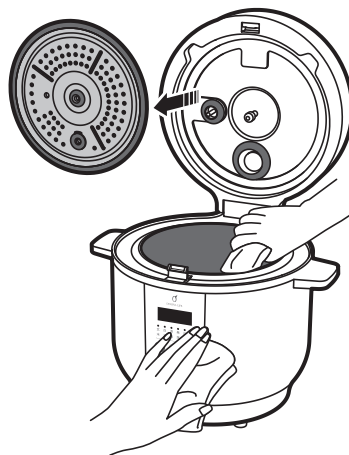
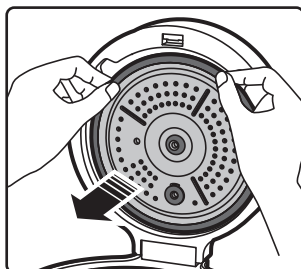
- 本体に水をかけたり、水洗いをしない
→感電や故障の原因になります。
- 洗剤・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・シンナー
・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・金属たわし
・硬いたわしなどは使わない
→変形や変色、傷の原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機での乾燥はしない
→変形や故障の原因になります。

調理後は毎回お手入れをしてください。お手入れをしないと保温中のおいしみの原因となります。

■本体 水洗いできません。

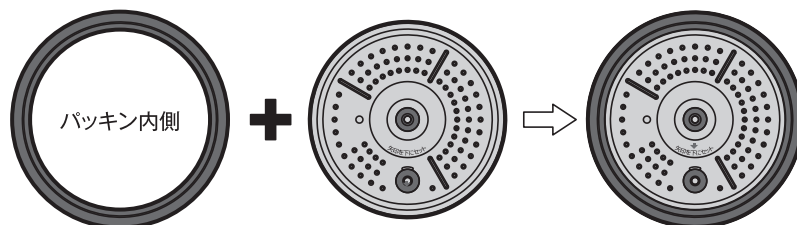
- ※本体の外蓋から内蓋を外します。
外蓋内側のくぼみから内蓋に指をかけて手前に引いて外します。
- 内側・外側を水で濡らして固く絞った布巾などで拭きます。
 - 本体内側のヒーターや温度センサーに、ごはん粒や異物などがついていたら丁寧に取り除いてください。

[内蓋の外しかた]

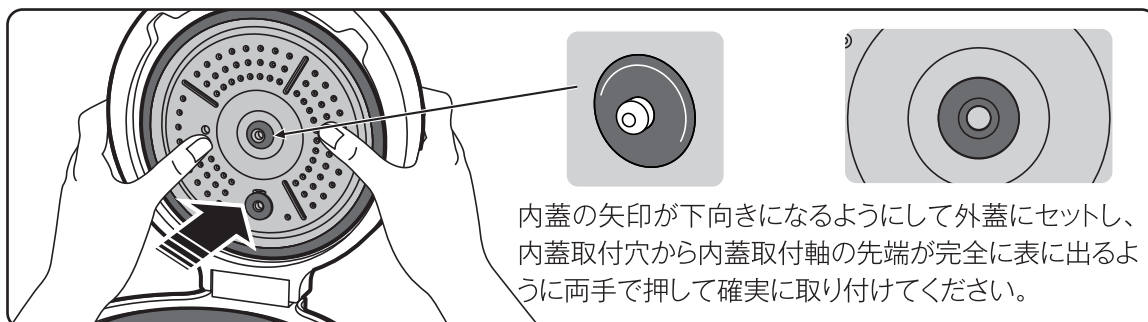


■内蓋 使うたびに洗います。

- ①内蓋周囲のパッキンを外し、台所用中性洗剤を使い、柔らかいスポンジで洗います。
- ②乾いた布で水分を拭き取り、パッキンを内蓋の外周にゆるみがないように正しく取り付け、必ず外蓋にセットします。【注】周囲のパッキン以外のパッキンは外さないでください。



[内蓋の取り付けかた]



使い方

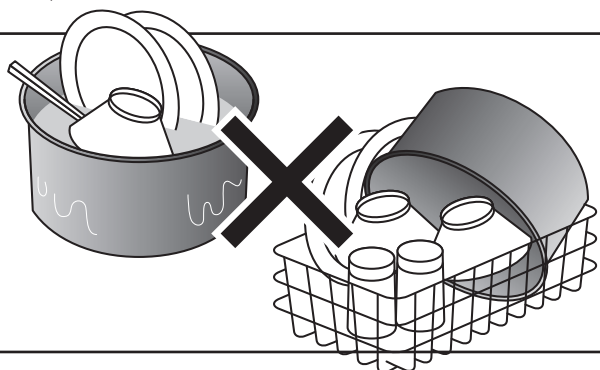
■内釜 使うたびに洗います。

- ※腐食やにおいをふせぐため、いつも清潔にしてください。
- ①台所用中性洗剤を使い、柔らかいスポンジで洗います。
 - ②乾いた布巾で水分を拭き取り、十分に乾燥させます。



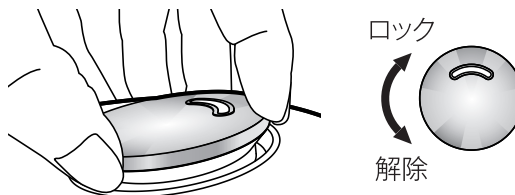
注意

内釜に食器類などをいれて、洗いおけとして使わない
また、内釜を乾燥させるときに食器類の上にかぶせるなどして重ね置きしない
→フッ素加工面が傷ついたり、はがれたりする原因になります。

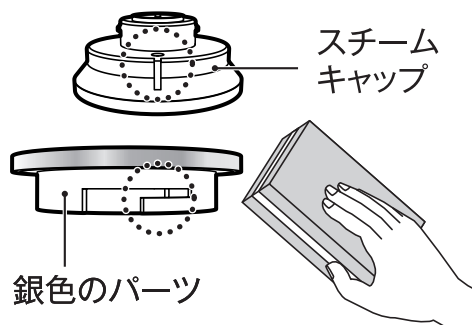


■スチームキャップ 使うたびに洗います。 ※分解できます。

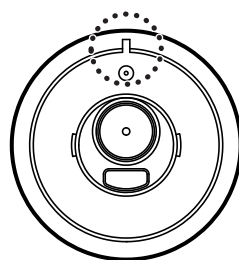
- ①本体からスチームキャップを引き抜きます。
- ②銀色のキャップを解除方向に回して外します。



- ③柔らかいスポンジなどを使って2つのパーツを水洗いします。
- ④水気を拭き取り、スチームキャップの目印がある場所に銀色のパーツの目印を合わせてはめ込み、ロック方向に回して取り付けます。



- ⑤スチームキャップの目印の凸部と本体の凹部が合うようにしっかりとはめ込みます。



スチームキャップを外したままで絶対に炊飯や調理をしない

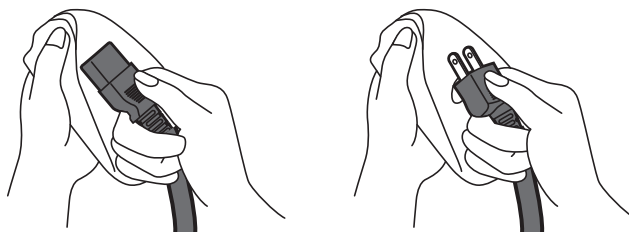
■計量カップ・しゃもじ 使うたびに洗います。

- ①台所用中性洗剤を使い、柔らかいスポンジで洗います。
- ②乾いた布巾で水分を拭き取り、十分に乾燥させます。



■接続コード 水洗いできません。

- ゴミやほこりは定期的に乾いた布で拭き取ります。



故障かな?と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告 お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源が入らない ごはんが炊けない	●電源プラグや接続プラグが、根元まで確実にコンセントや本体に差し込まれていますか? →確実に差し込んでください。 ●炊飯米の設定を正しくしましたか? →選択ボタンにタッチして、ご希望の炊飯米を選択してください。(5ページ参照) ●内釜の裏面やふち、内蓋のパッキン部、ヒーター・温度センサーに異物(ごはん粒など)がついていませんか? →炊飯前に、必ず取り除いておいてください。
炊飯中に吹きこぼれる 外蓋の間から 多量の蒸気が出る	●水加減、お米の量・種類は正確ですか? →3、5、6ページを参照して正しい分量で準備してください。 ●内蓋は付いていますか? →炊飯前に、必ず内蓋を取り付けてください。(9ページ参照) ●内釜の裏面やふち、内蓋のパッキン部、ヒーター・温度センサーに異物(ごはん粒など)がついていませんか? →炊飯前に、必ず取り除いておいてください。 ●お米を十分に洗いましたか? →3ページをご参照ください。 ●内釜が変形していませんか? →ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
炊きあがったごはん に芯が残る ごはんがかたすぎる	●水加減、お米の量・種類は正確ですか? →3、5、6ページを参照して正しい分量で準備してください。 ●内蓋は付いていますか? →炊飯前に、必ず内蓋を取り付けてください。(9ページ参照) ●内釜の裏面やふち、内蓋のパッキン部、ヒーター・温度センサーに異物(ごはん粒など)がついていませんか? →炊飯前に、必ず取り除いておいてください。
炊きあがったごはんが やわらかい、べたつく	●水加減、お米の量は正確ですか? →3、5、6ページを参照して正しい分量で準備してください。 ●お湯(35℃以上)で洗米したり、お湯を入れて炊飯していませんか? →お湯(35℃以上)で洗米したり、炊飯するときにお湯を使用しないでください。
保温したごはんが 黄ばんだ、かたくなった	●長時間の保温をしていませんか? →3時間以上の保温は、ごはんの黄ばみやかたくなる原因になることがあります。長時間の保温は避けて下さい。

困ったときは・その他

製品仕様

定 格 電 圧 : AC100V
定 格 周 波 数 : 50/60Hz
定格消費電力 : 350W
保 温 時 間 : 最大6時間
モ ー ド : 玄米、白米
タ イ マ ー : 玄米 4~12時間(10分単位) 白米 2~12時間(10分単位)
容 量 : 3合炊き
質 量 : 約2.1kg(内釜含む)
本 体 サ イ ズ : 約(幅)275×(奥行)232×(高さ)225mm
材 質 : (本体)PP、(内釜)合金アルミ
コ ー ド 長 : 約1.5m
付 属 品 : 計量カップ、しゃもじ、電源コード
生 産 国 : 中国

保管のしかた

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、ちりやホコリがかからないように袋などに入れ保管してください。
- 直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- 振動のある場所や冷暖房機のそばは避けてください。
- お子様の手の届かない所で保管してください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

MARUTAKA (輸入元 株式会社丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-62-3

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの時には、製品名・品番をお伝えください。

